



# 学校だより

5月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和5年4月28日

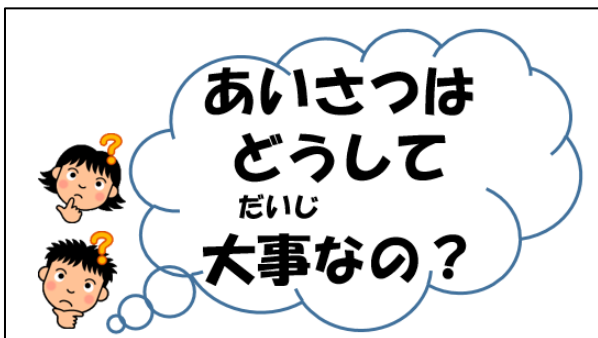
横浜市立神奈川小学校

## 挨拶いっぱい 학교에

校長 田名部 和美

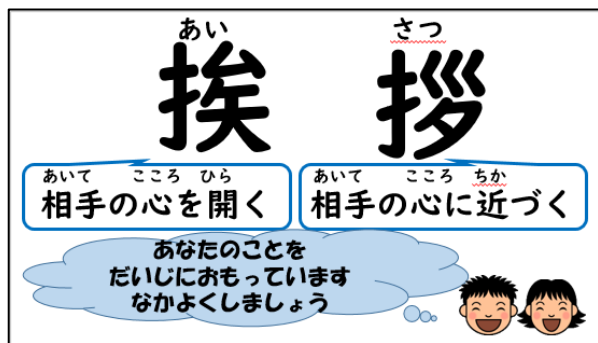
毎年4月最初の朝会では、挨拶の大切さについて話すことにしています。今年度も、「挨拶」という漢字の意味を話しながら、人と人がつながるための第一歩として、挨拶を大切にしよう、挨拶いっぱいの学校にしよう、という話をしました。

幼い頃、感謝を伝えるべき場面で、親に「ありがとう言えた?」と促されてから「ありがとう」と言っていたことを覚えています。そういうことを繰り返し、人に親切にしてもらったり、何かをいただいたりしたときには「ありがとう」という言葉でお礼を伝えるのだ、ということを知りました。学んだことによって、自分から「ありがとう」が言えるようになりました。



「挨拶は大切だよ」「挨拶をしっかりしようね」と声をかけることは簡単ですが、それを実践できる子どもたちを育てるためには、子どもたち自身が挨拶の大切さを知り、自分から「挨拶をしてみよう」と思うことが大切です。

「挨拶」の語源を紐解いてみると、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深浅を試すことを「一挨一拶」という、その言葉に由来するそうです。「挨」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」には「迫る」「擦り寄る」といった意味があります。つまり、「出会った人が互いに心を開いて相手に迫っていく」ということが挨拶とされています。



「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」

この短い言葉で誰かにつながることができ、自分の思いを伝えることができます。そして相手を認め大切に思っていることも、伝えられます。子どもたちが当たり前前に挨拶することができる、挨拶いっぱいの学校になるとよいと思います。まずは自分が姿勢を見せることで、その大切さを伝えていこうと思います。

